

一
般

質
問

太
バ
リ

町政を問う！

総務部関連質問

富士議員

Q 水道料金もそうであるが、固定資産税、町民税等の滞納者が多く、町財政を圧迫していると聞く。過去にも多くの議員が一般質問をしているが、現在どこまで徴収が進んでいるのか。全ての税金滞納者と、保育料の滞納者（件数）を含めて公表して欲しい。また、税と料の収納を各課で担当するのではなく、一元化して収納効率を高めるべきだと思うがどうか。

渡辺助役

A 各種税及び保険料の徴収は、平成16年度から料対策室を設置して水道料と建設部門に関する使用料について統括的に徴収に取組んでおり、一般町税全体では、収納率は約89%（2月末現在）で、前年度までの未納額は1億2千3百万円余り。昨年の同時期と比べ約1170万円の減となっている。今後も町税等収納推進本部を中心に、一層の収納率の向上に努めていく。また、税・料の滞納者の公表は個人情報保護の観点から、差し控えていただく。

Q 合併に対する具体的な姿勢を問う。

A 概ね2年を目標に方針を整理していく。

尺田議員

Q ①合併に対する課題を行程表に載せる時がきたと認識されているのか、否か。また、熊野町議会及び町民の皆さんに合併に向けた基本方針をいつ頃示される予定なのか。

②中小企業融資制度の預託金を増額することはできるか。

平本町長

A ①国においては、引き続き市町村合併を推進することともに、今後は都道府県合併や連合、道州制などの大きな枠組みについての議論もより活発化するのではないかと考えている。現在、近隣市町と行政制度の比較などを通じて調査研究を進めているが、さらに広域行政、地方分権の役割と課題などについても共に調査研究を進めたい。また、国や近隣市町の動きに対して的確な対応を図ることが重要であり、合併問題や広域行政のあり方などの方針は、概ね2年程度を目標に整理したい。

②平成16年度の利用率は平均で約66%程度である。ただ利用率に余裕があるため平成17年度予算では預託金を1億円としている。必要であれば増額の検討を行う。